

## わがLOMのシニア・クラブ

宗像JC ●

北見JC  
- 北海道 -現役会員と共に成し遂げた  
第58回北海道地区会員大会北見大会!!

1953年、この北見でも同じ志の青年が立ち上がり、全国で44番目、道内では5番目のLOMとして、北見青年会議所を創りあげました。

情熱溢れる活動は長い時代を経た中で、手法は変われども向かうべきもの変わらないことな、社会開発と指導力開発を柱にした運動を継続することにより、このまちの発展に大きく貢献してきたことは、まぎれも無い事実であります。

私たちシニアクラブは、あえて



OB例会での北見JCシニアクラブ 今井郁夫会長あいさつ。



第58回北海道地区会員大会北見大会の開会式での近藤充広理事長あいさつ。

厳しく接することもありますが、現役メンバーは歯を食いしばり、靴底を減らしてでも食欲に答えを見つけて出そうとします。そして、2009年度は私たちが応援団となり、「第58回北海道地区会員大会北見大会」を主管するに至りました。

1959年に第8回大会を開催したのが北見大会の始まりであり、1972年には第21回大会が開催され、今もお受け継がれている大会の鍵は北見青年会議所が作成し、北海道地区協議会に寄贈され、1983年の第32回大会、1997年の第46回大会、各地会員大会を経て、多くの出会いと感動のドラマが詰まっ

た姿で帰郷しました。

この大会の中では、勇壮たるオホーツクの海と大地の恵みから産まれる豊富な食材を活かした新北見ブランドとなる、「北見パワーアップブランド」を市民公募のレシピの中からホテルシェフにより商品化してもらい、大懇親会で振る舞うことができました。翌日からはホテルメニユーに加えていただき、誰もが楽しむことができます。

また、昨年に開催した市民会議で提案された中から「北見ハーフマソン大会」を採択し、地域では初めての試みとして10月11日に開催することになっていきます。北見の新しいブランドは、JCと地域住民が協働で目的に向かったときに、無限大の可能性が広がっていくということとをこの大会の中で表現し、現役メンバーの地域社会に対する



北海道地区会員大会の鍵を持つ下元陽司実行委員長。



責任は、彼らを今以上の成長にいざなうことでしょう。私たちシニアクラブは、彼らの今後の活躍を一番の理解者として応援していくことが大事な役割だと感じており、現役メンバーに熱いエールを送ります。

日本JCシニアクラブ

北海道地区担当世話人

船橋賢二

北見JCシニアクラブ

副代表幹事

河合昭徳